

KAWA-SPO 親善ティーボール大会 ルール

1. 競技場と用具について

- ①競技場（グラウンド） においては軟式少年野球用に準ずる
- ②(用具) ティーボール公認グッズを使用する。12 インチティーボール・専用バット使用
※主催者にて“グラブ” 以外は準備します。グラブは各自ご準備ください。
- ③本塁プレートの角を中心に半径3 mの円を描く。打者はこのサークル内で打撃を行う。

2. 競技者について

- ①競技参加対象者は小学生以上、男女混合とする。1 チーム 10 名以上の登録が必要。
- ②小学生のみでのチーム構成は不可とし、1 チーム内に成人 5 名以上の登録と参加が必要とする。
- ③打撃者、守備者ともに10名とする。

3. 守備者について

全ての守備者は、打者が打撃を完了するまでダイヤモンド内に入ってはいけない。

4. 打撃規程について

- ①打者は審判が「プレイ」と宣告した後、バッティングティーに載せたボールを打つ。
- ②打撃時の軸足の移動は 1 歩までとする。2 歩以上動かしたときは、ワンストライクが加えられる。
- ③打者がボールを打たないで、ティーだけを打ったときは、空振りでワンストライクが加えられる。
- ④ツーストライク後からのファウルは、打者アウトである。
- ⑤打者が打ったボールが、本塁プレートから 3 mの円の中にボールがあるときは、ファウルとする。
- ⑥バントやプッシュバントは認められない。これを行った場合、打者はアウトとする。

5. 走塁規程について

- ①走者は打者が打った後に離塁することができる。走者の離塁が早いときは、走者はアウトになる、また盗塁は認められない。
- ②スライディングは禁止する（行くと走者アウト）。

6. 試合について

- ①本大会は10人打撃制で行う。※3アウト制ではありません。
- ②2 チームが攻撃と守備に分かれ、攻撃側の全打者（10人）が打撃を完了した時点で攻守を交代し、3 イニングを終えたとき、得点の多いチームが勝者となる。
- ③選手交代は主審に告げ行う。一度出場した選手の再出場は認めない。

7. 審判員について

- ①審判員は3人制で行う。尚、主審のみ主催者にて対応する。
- ②塁審は成人のものが行い、試合に参加していないチームから協力を仰ぐものとする。
- ③その他の試合ルールに関しては、日本ティーボール協会公式規則に準拠する